

現代のアイヌ工芸と文化

アイヌ文化は活気に満ち、適応力を持っています。19世紀後半から20世紀初頭にかけて、言語と伝統的な生活様式が数十年にわたって抑圧されてきたにもかかわらず、アイヌの人々は彼らの伝統の重要な側面を保持することに成功してきました。今日、彼らは伝統的なデザインを再活性化し、現代の用途に向けて適応させています。2008年、旭川市博物館はアイヌの工芸家、音楽家たちに、彼らの文化遺産を強調する作品の制作を依頼しました。

アイヌの信仰の中心的なテーマは、人類を守り、育み、試練を与える自然の力であり、この自然とのつながりは現代の表現にも影響を与え続けています。伝統的な文様は、現代の衣服や装飾品に刺繍やアップリケとして施されています。付随する映像展示では、プロジェクトの参加者が創作過程を説明し、若い音楽家たちが過去と現在を融合させたアイヌ語の歌を演奏しています。